

2015年(平成27年)4月9日(木曜日)

# 岡山大、北大とV B設立 人工骨、21年度めど実用化

岡山大学は8日、北海道大学と人工骨を開発するベンチャー企業を設立したと発表した。体に吸収されやすく負担が少なく、既存の骨にくっつきやすい新しい人工骨

で、歯科や整形外科など医療分野に応用する、2021年度をめどに実用化し、販売開始から3年後に6億5千万円の年商を目指す。設立したのはメディカ

ルクラフトン(岡山市)。共同研究を進めていた医療用品製造のダイヤ工業(同)が全額出資した。元岡山大学大学院准教授で、北海道大学大学院の吉田靖弘教授が開発した

技術を用いる。現在人工骨として使われているリン酸カルシウムに食品にも使われる素材を加えることで、安全性が高く加工しやすい人工骨にな